

DX policy



DX方針

私たち運送業界は時代の変化とともに常に進化を続けてまいりました。
しかし慢性的な人材不足に加え、2024年問題に代表されるドライバーの労働時間規制強化
など、かつてない厳しい環境に直面しています。

当社は「エネルギーインフラを支える」重要な使命を担っています。

この社会的責任を果たすため、どんな困難な状況にあっても、安全かつ安定的に物資を運び続けるため
これまでのデータとデジタル技術を活用し業務効率化、環境負荷低減、そして働く環境改善を実現します。
DXを経営の中核戦略と位置づけ、社会と地域に貢献する物流モデルを構築していきます。

2025年 8月 25日

大郷運輸株式会社
代表取締役社長 高橋 利滋

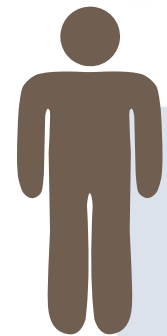
現状課題



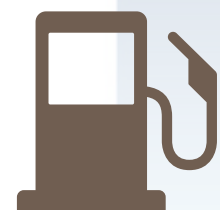
労働時間規制強化



環境への配慮



人材不足



燃料費高騰



属人化業務



ステークホルダーとの関係

Digital

Transformation



DX現状と今後

Digital Transformation
(デジタルトランスフォーメーション)

自動配車システムによる戦力化と時間短縮
AI点呼による運行管理業務平準化と負荷低減
RPAツール導入による省人化

Digitalization(デジタルイゼーション)

デジタコ連携による自動記録
勤怠管理システムによる労務管理

現状

Digitization(デジタイゼーション)

紙・電話による配送・配車指示
officeソフト等での労務勤怠管理
ルーティーン業務の属人化

DX戦略

■ 効果的生産性の向上

リアルタイム配送システムによる道路状況の把握
属人業務からの脱却

■ 持続可能な環境貢献

デジタコデータの可視化によるエコドライブ指導
データ共有によるペーパーレス化と業務のスリム化

■ 安全・法令遵守

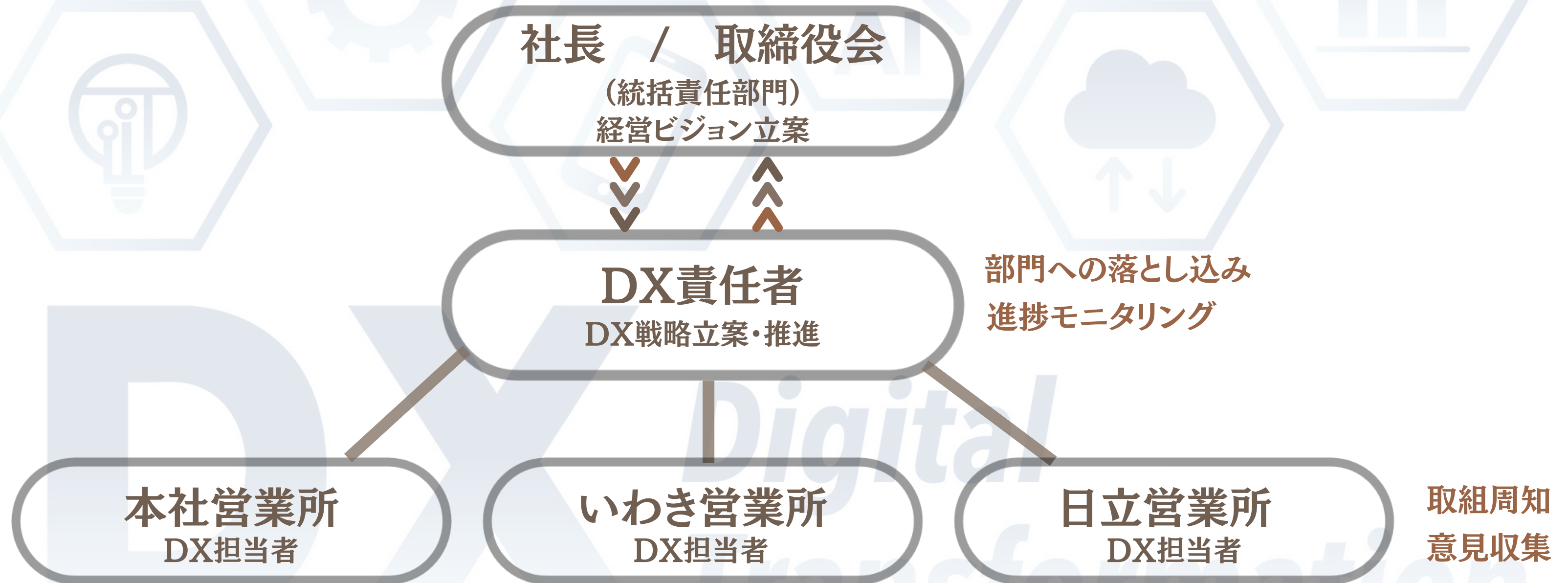
運行データと連動した労務管理
AI点呼支援による点呼業務の平準化と安全管理向上

■ DX人材育成

DX関連のセミナー受講、資格取得支援の実施
デジタルリテラシーを向上させ学んだスキルを実践活用



DX推進体制



DX推進を目的とした組織を設置。統括責任部門(社長・取締役会)で経営ビジョン並びにDXに関する方針事項を決定しDX責任者は戦略・戦術を立案、各部門への落とし込みを行う。四半期に1度、各部門のDX担当者とミーティングを行い、進捗確認や現場からの声を共有。内容を精査し統括責任部門へ提言。デジタル技術によるシステム構築を行い、効率的かつ効果的にな業務運営を行っていく。同時に人材育成のため関連セミナーや講習会へ参加、資格取得支援を行い強固な体制作りも進めていく。

DX推進KPI指数

- リアルタイム配送システム、クラウド型配車計画支援により誰もが効率的かつ正確な配送を行う
- RPA導入により慢性化している属人業務からの脱却
- 「作業」から「仕事」への意識改革
- デジタコデータの共有による走行状況と労務管理
- AI点呼による健康確認の標準化と業務軽減
- CO2削減への取り組み

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

2030年

労働分配率
2025年対比
7%減

サイバーセキュリティ対策

- ファイアウォールの導入
内部と外部の通信を監視し、許可された通信のみ通過させ、許可されない通信は遮断
- ITセキュリティ担当者を外部委託
- SECURITY ACTION 2つ星★★宣言
情報セキュリティ基本方針を策定

情報セキュリティ基本方針	
■ 経営者の責任	当社は経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます
■ 社内体制の整備	社内情報セキュリティに関するルールを策定します
■ 従業員への取組み	従業員が情報セキュリティの重要性を十分に認識するよう必要な教育を実施します
■ 法令及び契約上の要求事項の遵守	情報セキュリティに関する法令及び取引先との契約上のセキュリティ要求事項を遵守します
■ 違反及び事故への対応	情報セキュリティ上の事件または事故の予防に努めるとともに、発生した場合の被害を最小限にとどめるなど、事件・事故への適切な対応や再発の防止に努めます

 大郷運輸株式会社



セキュリティ対策自己宣言

